

2 2 陳 情 第 1 8 号	四谷地区再開発計画の一部として解体を予定している「旧四谷第三小学校」の施設活用の見直しに関する陳情
付 託 委 員 会	総務区民委員会
受 理 及 び 付 託 年 月 日	平成22年6月15日受理、平成22年6月18日付託
陳 情 者	新宿区市谷薬王寺町————— ————— 外92名

## ( 要 旨 )

四谷地区再開発計画の一部として解体を予定している「旧四谷第三小学校」の施設活用を見直して、有効活用してください。

## ( 理 由 )

- 1 新宿区は、「区有施設の有効的な活用と周辺地域のまちづくりへ寄与、地域貢献の観点から」総合的に判断して、再開発後の区が得られる権利床については「スポーツができる機能を整備」「文化国際交流拠点機能を誘致」「防災性を高め安全で快適なまちを目指す」また「認証保育園の誘致」をすると結論づけています。(政策経営会議資料 平成21年11月5日 総合政策部行政管理課 平成21年度施設活用検討結果(第一次)報告について)
- 2 上記、施設活用の観点、判断は「住みよいまちづくり」には素晴らしい施策と評価申し上げますが、優先される緊急・必須の事業とは思えません。
- 3 保育園機能に注目すると、現在、昨年4月に待機児童の緊急対策措置として、信濃町保育園分園(定員80名)の保育園が運営されていますが、さらに今年6月28日から、四谷保育園の定員拡大のための工事期間中、仮園舎(定員81名)として6ヶ月間のみ保育園機能が「旧四谷第三小学校」に加わります。また、四谷保健所の機能の一部(難病・精神保健などの申請、精神保健・育児などの相談)も6月21日より加わるといわれています。これらの業務に伴う、この施設への冷暖房施設、仕切りなどの改修工事はほぼ完了しております。
- 4 「旧四谷第三小学校」は、「平成15年に耐震工事が施された築30年ほどの新しい建物」と聞きました。これだけの機能とキャパシティをもつ優秀な建物を再開発計画のもと、解体するのはもったいないと思います。保育園機能だけに注目しても、丸

ごと2つの保育園が入ることができる建物です。また、使用されていない階もまだあり、手を加えることで集会施設などとしても十分使用可能と思います。

5 既存の建物を壊して新しい建物を作る「再開発」だけでなく、既存の施設を有効活用する「再開発」は有効な税金の使い方であると信じております。

6 増加の一方である待機児童の緊急措置として信濃町保育園分園を暫定的ではありますが設置・運営されていることは、素晴らしい施設活用方法であり感謝申し上げます。

ぜひ、引き続き「旧四谷第三小学校」の解体ではなく、地域貢献のための有効な施設活用をお願い申し上げます。